

## ‘10年2月20日 ダブル観望会

by kuma

2月20日。前週が悪天だったため、3週間ぶりの観望記です。

この日は秦野市にあるくずはの家主催の市民観望会のお手伝いがあり、終了後にいつもの観望場所まで移動して再び観望と言う強行軍。

観望会の梯子は初めてではありませんでしたが、結論から言うと結構疲れました。

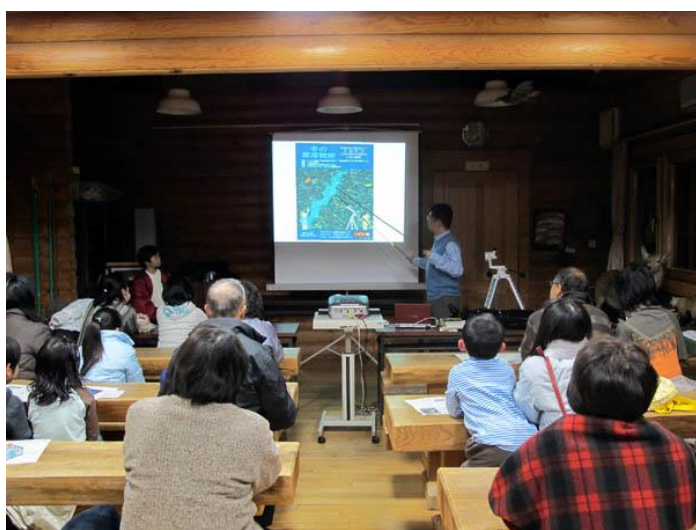


photo Ms.kimura

市民観望会の方は定員 30 名をややオーバーしていましたが、ここ数回の悪天による中止が続いたためか、ヒデアキさんが講師を務めた最初のプロジェクトによる説明を皆さん熱心に聞いています。ガリレオが作った望遠鏡のレプリカや世界天文年の期間延長の話など、興味深い話がたくさん聞けました。

続いて屋外に出て実際の星空を見ながら、レーザーポインターを使って**オリオン座**や**冬の大三角**、**火星**などを説明します。

この日は久々の好天で素晴らしい透明度に恵まれたため、冬の賑やかな星座が良く見えていました。



photo Ms.kimura

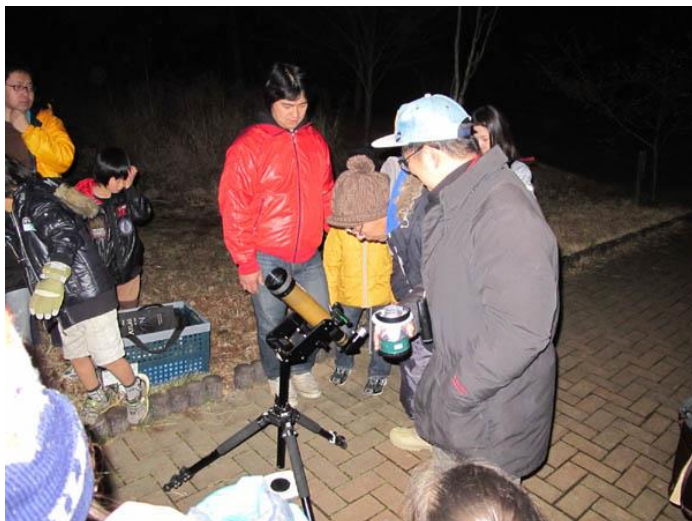


photo Ms.kimura

望遠鏡の操作を説明しながら実際に触ってもらいます。毎度の事ですが複数の親御さんから、望遠鏡が欲しいが一体幾らぐらいするものなのか、と質問されます。中には近くのホームセンターの名前まで挙げ、店頭に並んでいる品を買うかどうか迷っていると言った相談までされてしまいました。

今宵のメインは**月と火星**。シーイングの影響で低倍率に抑えましたが、そこそこ引き締まった月面像が楽しめました。やはり**親御さんたちの方が見入ってしまうのも毎度の事です**。



photo Ms.kimura

市民観望会の方は定刻よりやや早く終了しました。  
大急ぎで機材を片付け、揃って次の観望地に移動します。

途中で夕飯を済ませ、21時半ごろにはいつもの観望地へ到着。既に3名の仲間が先着して観望を楽しんでいます。今週は悪天が続いたためか途中の道端には所々雪が残っていて地盤もやや緩み気味。どうやら今夜は結露にも注意しなければなりません。空の方は全天快晴。ちょうど月が沈む直前で既に西に傾いた冬の星座や頭上の春の星座が良く見えていました。



ハセガワさんのいつものFS128。  
火星と土星がメインでしょうか。

アライさんの新機材、ビクセンの8cm 屈折とポルタのセット。彼は丹星に入会してまだ日の浅いにもかかわらず、機材の方は着実にステップアップしています。  
次回にはフローライトが登場するかも。



くずは観望会で講師を務めたヒデアキさんのネリウスツイン。昨年の双望会会場で一式まとめて入手されたとか。冬の散開星団を幾つか見せてもらいましたが、ヌケも良くてクリアな眺めが楽しめました。

うらしまさんのペンタックス 75EDHF。  
今夜は早上がりの方が多いようでお気楽セットが目につきます。







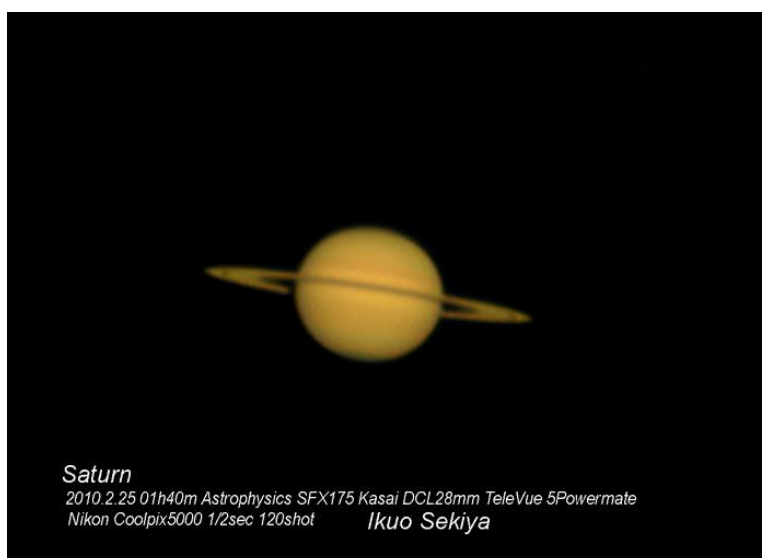
つくさんの TOA130。最近はこの組み合わせが多く、相変わらずの素晴らしい見え味に列が出来ます。今夜も惑星狙いでしょうか。

第一部の市民観望会では月を中心に見ていたので、ここからは惑星メインで観望します。火星はちょうど模様の少ない時間帯でしたが、シーイングも良好でそこそこ引き締まった像が楽しめました。



夜半前には**土星**も高く昇って来たので一斉に筒先を向けます。年末と比べるとさらに環が開き気味で見易くなっており、夜半過ぎにはシーイングも上がりシャープな姿を見せてくれました。300倍で環を凝視すると微かですが**外周両端の1/3付近にカッシーニの空隙**と思われる黒い点も見えていました。

写真では既にこのカッシーニを捉えた画像を目にしますが、眼視ではそこそこのシーイングに恵まれないと**まだかなりの難物とも思える見え方**です。環の向こう側には土星本体の影も僅かに見えていますが、前回と比較して影の部分が少なくなり、衝に近いことを感じさせてくれますが、果たしてこの程度の開き具合でも**ハイリゲンシャイン現象**が現れるのでしょうか。これも興味深いです。



土星をつくさんの TOA と何度か見比べましたが、光量では当然ミューロンが勝るもののシャープさではほとんど双璧。土星ではその差は見出せませんでした。火星や木星の表面模様の検出にはおそらく TOA に軍配が上がる事でしょう。

シーイングの確認を兼ねて TOA で **おとめ座  $\gamma$  星ポリマ** を見ましたが、**250 倍ではっきりと分離を確認しました**。ポリマを見たのは多分 8 年振りぐらいだったでしょうか。ひと頃は 0.5" 以下まで接近して完全に分離圏外でしたが随分と開いてきましたね。

帰宅後改めて確認したところ、現在の角距離は **1.48"** でした。この角距離ならどうやら 10cm クラスでも射程圏ですが、この確認は次回以降に持ち越しですね。



夜半過ぎにはそろそろ撤収を開始するメンバーもいたので、**うらしまさん** お得意の星景をバックに記念撮影。おうし座が半分沈んでいますが冬の星座がほぼ一網です。冬のダイヤモンドに火星が加わり見えています。

その後も最後まで残ったつくさん、うらしまさん、ねこさん、私の 4 人で色々楽しんでいました。夜半前と比較して確実にシーイングも上がり、土星などは信じられないほどシャープな姿が楽しめました。環も開いてようやく土星らしさが出て来ましたね。

梯子観望会のためか夜半を過ぎてさすがに疲労を感じてきたため、27 時過ぎにお開きとし揃って撤収しました。

来月も同じ場所で観望する予定ですが、視界も十分確保できるので今年は条件も良いようだし久しぶりにメシエマラソンでもやってみようかな。

※第二部の写真はすべてうらしまさん、ねこさん撮影

了